

浦和区自治会連合会

平成30年度 第2回 理事会 報告書

- 1 日時 平成30年7月3日（火）午前10時から11時30分まで
- 2 場所 浦和区役所1階コミュニティ活動コーナー
- 3 開会
石井桂太郎副会長が開会を宣言した。
- 4 会長あいさつ
藤枝陽子会長から猛暑の中の出席に対しての御礼と挨拶があった。
- 5 理事成立要件の確認
理事 18名中 14名出席 成立した。
- 6 議事録署名人の指名
木崎第2地区の村田昇理事を議事録署名人に指名した。
- 7 区からの依頼事項
 - (1) 暮らし応援室より各自治会に対して「高齢者の交通安全教室」の拡充に向けた協力について説明があった。
 - (2) コミュニティ課より次の4項目について、まとめて説明があった。
 - ①原爆死没者慰霊式の案内状送付について
 - ②埼玉県共同募金会浦和支会に対する自治会長名簿の供与について
 - ③オータムフェスタ2018のチラシ回覧について
 - ④ランチタイムコンサートのチラシ回覧について

以上の依頼事項について了承した。
- 8 経過報告
 - 5月 8日（火） 浦和区自治連第1回理事会（コミュニティ活動コーナー）
 - 5月22日（火） 平成30年度浦和区自治連定例総会（プリムローズ有朋）
 - 5月27日（日） さいたま市ごみゼロキャンペーン市民清掃活動
 - 5月28日（月） 共同募金会第1回理事会（ふれあい館）
 - 6月 1日（金） 自治連役員と市長との懇親会（ワシントンホテル）
 - 6月 8日（金） さいたま市自治連第2回理事会（大宮区役所）

- 6月16日(土) 平成30年度さいたま市自治連定例総会(産業文化センター)
- 6月19日(火) 浦和区自治連会長講習会(市民会館うらわ)
- 6月26日(火) 浦和区自治連正副会長会(コミュニティ課内)
- 6月27日(水) 浦和区防犯ネット協議会(浦和区役所第1会議室)

「区長と語る会」の開催状況

- 6月20日(水) 常盤地区
- 6月25日(月) 木崎第一地区
- 6月28日(木) 中央地区
- 6月29日(金) 北浦和・針ヶ谷地区
- 6月29日(金) 元府趾地区

9 協議事項

(1) 役員視察研修の日程と研修内容について

- ・秦野事業委員長より視察研修について2案の説明があった。第1案は千葉県花見川下水処理場視察、第2案は静岡県資源物再生工場視察の案で、距離、交通渋滞の関係から千葉にすることにした。また、日程は各理事の日程等を勘案し、10/24(火)、25(水)とすることとした。今後は浦和区コミュニティ課との調整で決定することとした。

(2) 地区別研究集会のテーマについて

- ・先日開催した正副会で検討した結果、今回も共通テーマということで、内容は環境衛生について、特にごみ問題にしたらどうかと諮った。秦野事業委員長からテーマは別として、各地区でテーマについて問題点の洗い出し、各自治会の対応、自治連からの要望までしないと研究集会の意味がないとの意見があった。これについては、研究集会までまだ時間があるので、再度正副会、理事会で検討することとした。

(3) 専門委員会委員の再構成について

- ・平成30年度に3名の会長が退任されたことに伴い、新理事3名を各専門委員会に配属する案を提案し、了承を得た。

(4) その他

①志水理事より、さいたま市自治連専門部会の自治会加入促進部会が主催する講演会について説明があった。志水会長も事例発表をするとのことであった。

②佐々木理事より「転倒倒壊の恐れのある塀等、擁壁等」の資料を用い、防災について倒壊の恐れがあるブロック塀等の説明があった。災害に強い街にするには、倒壊の恐れのある塀等を撤去し、生垣にすることが良いとの説明があった。さいたま市でも生垣助成制度があるが、生垣にすると定期的な選定等管理が面倒であるため、なかなか進展しないので、生垣にしないまでもフェンスに植栽する方法や、プランターを設置する方法等のやり方があることの説明があった。

また、相模原市の事例を紹介し、危険ブロック塀等の撤去奨励補助金制度があるので、さいたま市でも危険ブロック塀の撤去助成制度の創設や生垣助成制度の見直し(フェンスに植栽、プラ

ンター設置でも助成)を検討してもらうよう、自治連を通じて要望書をさいたま市に提案することとした。

10 閉会

高橋 明副会長が閉会を宣言した。

平成30年7月9日 さいたま市浦和区自治会連合会 副会長 石井桂太郎

(補足事項)

なお、新理事の各委員会の配属は、次のとおりとなった。

- ・ 対策委員会 榎本博理事
- ・ 情報委員会 河西伸子理事
- ・ 事業委員会 秋山知鶴理事